

都市再生整備計画(第1回変更)

きもべつしがいちちく
喜茂別市街地区

ほっかいどうきもべつちょう
北海道喜茂別町

平成19年8月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

| | | | | | | | |
|-------|-----|------|-----------------|-----|--------------------------|----|---------|
| 都道府県名 | 北海道 | 市町村名 | 喜もべつちょう 喜茂別町 | 地区名 | 喜もべつ しがいち なく 喜茂別市街地地区 | 面積 | 14.1 ha |
| 計画期間 | 平成 | 18 | 年度 | ～ | 平成 | 22 | 年度 |
| 交付期間 | 平成 | 18 | 年度 | ～ | 平成 | 22 | 年度 |

| |
|--|
| 目標 |
| 景観整備による賑わいの再生と安全で快適な生活基盤の整備 目標1 活気と賑わいのある美しい市街地の再生 目標2 少子高齢化に向けた生活基盤の整備 目標3 安全で快適な街づくりの推進 |

| |
|---|
| 目標設定の根拠 |
| まちづくりの経緯及び現況 <ul style="list-style-type: none"> ・道南の大動脈国道230号を含むこの市街地地区は、商店や行政機関が集中した喜茂別町の中心地区であるが、既存商店街の空洞化・老朽化や住民の高齢化により活力や賑わいが失われてきている。 ・多くの観光客が通過する国道230号を抱えながら、地理的好条件を経済活動として活用しきれておらず、廃業による空き店舗の増加が景観を害するようになってきた。 ・平成3年に国道230号拡幅によるまちなみ整備の実現に向けた国道230号市街地道路拡幅推進協議会が組織され、まちなみ整備の気運が高まり住民参加のワークショップが数多く開催されてきた。 ・平成13年にはまちづくり審議会が発足し、審議会7回部会6回が開催され、喜茂別町まちなみ整備計画が策定された。これにより、景観に配慮したまちなみ整備、高齢化に配慮した生活環境の整備、通過客を取り込むための商店街再編成の方針が示された。 ・長年の住民活動が実を結び、国道230号市街地交差点改良事業が平成17度から開始することが決定され、この地区の住民を中心とした活性化検討委員会で景観整備と地区の再生に向けた検討が行われている。 |

| |
|--|
| 課題 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・過疎化や近隣市町村の大型店舗の事業展開による町内消費の急激な減少に対応するため、国道通過客を対象とした業種転換と再編成の必要性が高まっている。 ・国道の改良事業により住居の移転が発生するため、安心して快適な生活をすごせる代替住宅用地の確保が求められている。 ・本町においては生涯学習事業や子育て支援事業・健康づくり事業の推進を図っているところであるが、ほとんどの公共施設が老朽化により住民ニーズに対応できなくなっている。 ・この地区は、喜茂別町の中心的なエリアでありながら、景観に配慮したまちなみ整備が行われていない。今後、策定中である広域景観づくりのアクションプログラムに基づいた景観整備が求められる。 |

| |
|---|
| 将来ビジョン(中長期) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・国道230号を中心として、商店が集中する市街地の景観に配慮したまちなみ整備の推進 ・道南地域と道央地区を結ぶ交通の要所であり、主要国道230号と国道276号が交差する立地特性を活かしたまちづくり ・誰もが活き活きと安心して生活できるよう、高齢者の生きがい対策や若者の定住促進対策、子どもを生み育てる環境づくりの推進 ・住民の生活意識の変化に対応し、働きやすさや暮らしやすさを基調とした、生活重視・人間性尊重のまちづくり |

| 目標を定量化する指標 | | | | | | | |
|-------------------|-------|------------------------|---|--------|--------|---------|--------|
| 指 標 | 単 位 | 定 義 | 目標と指標及び目標値の関連性 | 従前値 | 基準年度 | 目標値 | 目標年度 |
| | | | | | | | |
| コミュニティ施設の利用者数 | 人/年 | 多目的コミュニティセンター施設の年間利用者数 | 多目的コミュニティ施設を整備により交流拠点機能の向上を図ることにより、年間利用者数の2割増を目指す。 | 11,666 | 平成16年度 | 14,340 | 平成22年度 |
| 商業販売額 | 百万円/年 | 喜茂別町の年間小売業販売額 | 消費者ニーズに基づいた商業エリアの再編により、小売業販売額の1割増を目指す。 | 721 | 平成16年度 | 793 | 平成22年度 |
| 郷の駅の立ち寄り客数 | 人/年 | 郷の駅「きもべつ」の年間立ち寄り客数 | 第2の道の駅として郷の駅「きもべつ」を設置し、賑わいの再生を図ることにより年間立ち寄り客50万人を目指す。 | 0 | 平成16年度 | 500,000 | 平成22年度 |

都市再生整備計画の整備方針等

| 計画区域の整備方針 | 方針に合致する主要な事業 |
|--|---|
| <p>○景観に配慮したまちなみの整備を行い、住民の安全で安心な生活環境の改善を行う。</p> <p>・道道喜茂別停車場線に統一した街路灯の設置を行い景観の美化を図る。</p> <p>・市街地地区整備に向けた施設整備、及び統一した景観形成に関する具体的計画の作成を行い喜茂別らしい町づくりを進める。</p> <p>市街地地区活性化検討委員会(喜茂別町・商工会・末広町活性化検討委員会・住民による横断的組織等)</p> <p>・一般国道230号喜茂別町喜茂別市街交差点改良事業に伴い、上下水道の移設整備を行い沿線住民の衛生環境の保持を図る。</p> <p>・町道2条通りの道路改良事業を行い、歩行者の安全確保・沿線住民快適な生活の確保を図る。</p> <p>・町道末広5号線沿線住民が国道への安全な出入りを確保するため、生活幹線道路の新設による整備を行う。</p> <p>・新居住区の生活幹線道路新設を行い、国道および商店街等へのアクセス確保を行う。</p> <p>・一般国道230号の道路改良事業を行い、渋滞緩和と交通安全の推進を図る</p> | <p>高質高質空間形成施設(基幹事業：街路灯整備事業)</p> <p>まちづくり活動推進事業(提案事業：市街地活性化推進事業)</p> <p>地域創造支援事業(提案事業：上下水道移設整備事業)</p> <p>道路(基幹事業：生活幹線道路整備事業<2条通り線>)</p> <p>道路(基幹事業：生活幹線道路整備事業<新設道路1>)</p> <p>道路(基幹事業：生活幹線道路整備事業<新設道路2>)</p> <p>道路(基幹事業：生活幹線道路整備事業<新設道路3>)</p> <p>道路(基幹事業：生活幹線道路整備事業<新設道路4>)</p> <p>道路(関連事業：一般国道230号喜茂別町喜茂別市街交差点改良事業)</p> |
| <p>○賑わい創出と地域・観光情報発信拠点の形成により市街地の活性化を推進する。</p> <p>・市街地地区の賑わい創出のため、郷の駅「きもべつ」(第2の道の駅)の設置する。郷の駅は2つのゾーンから形成し、ゾーン1は地域情報提供無料休憩所・地場産品の販売エリア、ゾーン2は眺望エリアとして整備する。</p> | <p>既存建造物活用事業(基幹事業：多目的広場整備事業)</p> |
| <p>○交流拠点の整備及び子育て支援施設の整備により少子高齢化に向けた生活基盤整備を図る。</p> <p>・多目的コミュニティセンターと子育て支援センターを複合施設として集約し、利便性の向上と住民の世代間交流拠点の整備を行う。</p> | <p>高次都市施設(基幹事業：多目的コミュニティセンター整備事業)</p> <p>地域創造支援事業(提案事業：子育て支援センター整備事業)</p> <p>地域創造支援事業(提案事業：保育所解体事業)</p> <p>地域創造支援事業(提案事業：生活改善センター解体事業)</p> |
| <p>その他</p> <p>○交付期間中の計画管理について</p> <p>・各事業実施に伴う課題の整理及び調整については、市街地地区活性化検討委員会において検討を行うとともに、事業終了後の評価についてもこの検討委員会で行う。</p> <p>・事業の進捗状況や成果については、オフトーク通信や広報誌を活用し随時住民に周知を行う。</p> <p>○事業終了後の継続的まちづくりについて</p> <p>・現在策定中である広域景観づくりのアクションプログラムに基づいた事業展開を近隣町村と連携しながら推進する。</p> | |

喜茂別市街地地区(北海道喜茂別町) 整備方針概要図

| | | | | | |
|----|-----------------------------|---------------------|----------------------|---------------|----------------|
| 目標 | 景観整備による賑わいの再生と安全で快適な生活基盤の整備 | コミュニティ施設の利用者数 (人/年) | 11,666 (16年度) | 14,340 (22年度) | |
| | ・活気と賑わいのある美しい市街地の再生 | 代表的な 指標 | 商業販売額 (百万円/年) | 721 (16年度) | 800 (22年度) |
| | ・少子高齢化に向けた生活基盤の整備 | | 郷の駅「きもべつ」の立ち寄り (人/年) | 0 (16年度) | 500,000 (22年度) |
| | ・安全で快適な街づくりの推進 | | 客数 | | |

